

平成25年度 下京区運営の総括表

1 下京区基本計画に基づく着実なまちづくりの推進のために

テーマⅠ 人と人との絆をつなぐ(人をつなぐ)

基本方針	25年度重点取組				
	取組名	目標	実績	備考	所属等
基本方針Ⅰ-① 健やかな暮らしを地域力で育む	下京歩歩(ぼっぼ)塾の推進	科学的根拠に基づく運動処方を取り入れたウォーキングにより、歩くことを習慣づけていただくことで、区民の皆様の健康増進を図ります。	○従前からの取組に加え、以下の新規事業を実施し塾生の健康増進を図った。 ・歩こう会の開催【新規事業】 開催日 11月23日 場 所 北大路橋～四条大橋 参加者 84人 ・ミニ講習会の実施【新規事業】 開催数 6回 参加者 延べ47人 内 容 健康運動指導士による運動や健康についての話といすにすわってできる簡単な体操 (参考) 塾生数129人(4月当初)	塾生対象のアンケートにおいて、多くの塾生が「入塾前と比較して体調が良くなった」「毎日の生活の中で積極的に歩くようになった」と回答していることから、歩歩塾の活動により健康増進を図ることができた。	地域力推進室 福祉部 保健部
	関係団体との連携による健康づくりの取組	京都下京・南医療連携協議会や健康づくりボランティアグループ、(公財)京都市都市緑化協会等と連携し、健康体操や健康教育、食育セミナー等を地域に広げる取組を支援します。	○下京・みなみ健康まつりの開催 ・開催日 10月5日 ・場 所 下京区役所 ・参加者 182人 ・内 容 健康に関する講演会や骨密度・体脂肪測定、健康相談等を実施 ○健康づくりボランティアのメンバー育成を実施 ○梅小路公園青空健康づくりプログラム活動への支援を実施	—	健康づくり推進課
	空き家を活用した地域力の向上	空き家を有効に活用し、自治会やPTA、消防団などの地域の活動に積極的に参加していただける居住者を増やすことで、地域力の向上を図ります。	○空き家調査を実施 ・実施月 9月 ・実施場所 修徳学区 ・結果 ①空き家率 6.7% ②区の空き家率より低い結果が出ているが、ある町では1/3(8戸/24戸)が空き家であることが判明した。	—	地域力推進室

	<p>下京区安心安全ネット継続応援事業</p>	<p>防犯、防災、地域福祉、子どもたちの安全対策等、区民の皆様自主的、主体的な安心・安全の取組に補助金を交付し支援します。</p>	<p>○通学路での安全啓発を表示した電柱幕を学区で作成し設置 ・実施学区 豊園、修徳、稚松、菊浜、七条第三 ・作成数 53本（5学区合計） ○地域の防犯パトロール活動に必要な統一ベストの作成等、5学区（修徳、尚徳、稚松、崇仁、西大路）に補助金を交付</p>	<p>—</p>	<p>地域力推進室</p>
	<p>子ども家庭支援ネットワークの充実・強化</p>	<p>下京たんぼぼ広場の開催や孤立しやすい子育て家庭を定期的に訪問する「下京赤ちゃんねっと」事業など、子育てを支援する関係機関が実施する事業を充実させ、連携を強化します。</p>	<p>○下京たんぼぼ広場を実施 ・実施日 6月12日及び10月23日 ・場 所 元安寧小学校 ・参加者 215人+172人 計 387人 ○下京たんぼぼ広場10周年記念事業を実施 ・実施日 11月7日 ・場 所 元安寧小学校 ・参加者 297人 ○下京赤ちゃんねっと事業 子育てを支援する関係機関が実施する事業について、関係機関と連携して取り組んだ。 ・訪問実績 30件 ・情報誌の作成 1,000部 ・キャラクターグッズ（缶バッジ、ぬいぐるみ、携帯ストラップ）を作成</p>	<p>—</p>	<p>支援課 健康づくり推進課</p>
<p>基本方針Ⅰ-② 近所のお付き合いで安心を支える</p>	<p>こころのふれあいネットワーク</p>	<p>地域と関係団体が一体となったネットワークで、精神障害のある方の地域における自立促進と精神障害のある方に対する正しい理解、認識を深めていただけるよう取り組みます。</p>	<p>○「こころの健康」をテーマとする講演会を開催 ・第1回 開催日 10月31日 場 所 下京区役所会議室 テーマ 高齢者のうつと認知症の予防 参加者 30人 ・第2回 開催日 3月3日 場 所 下京区役所会議室 テーマ こころのしんどさに気付き、寄添い、つなげる～私たちにできること～ 参加者 17人 ○地域に出向いて実施する学習会及び施設見学 ・第1回 開催日 8月21日 場 所 下京総合福祉センター 参加者 21人 ・第2回 開催日 3月7日 場 所 稚松くつろぎサロン 参加者 31人 ○福祉施設などに関するパネル展示を実施 ・期 間 9月30日～10月9日 ・場 所 下京区役所1階 ○ネットワーク活動の紹介を行うネットワーク通信を発行【新規事業】</p>	<p>—</p>	<p>健康づくり推進課</p>

	権利擁護等高齢者福祉ネットワークの充実・強化	地域包括支援センターを核とした高齢者福祉ネットワークの連携を強化し、高齢者の権利擁護や高齢者に関する問題や課題の解決に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ○下京・高齢者権利擁護支援ネットワークの運営 ○高齢者の権利擁護や高齢者に関する課題の解決に向け関係機関との連携を図り、下記の事業を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護講演会 開催日 9月21日 参加者 110名 ・高齢者なんでも相談会 開催日 9月21日及び2月8日 参加者 32組+15組 計47組 	—	支援課 健康づくり推進課
	避難所運営マニュアルの作成支援	区民の皆様が、地域の実状に合わせた避難所開設やその運営に関する使いやすいマニュアルを作成できるよう支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ○各自主防災会に対して避難所ごとの「運営マニュアル」作成を支援 作成できた避難所数 6箇所 醒泉小、七条小、七条第三小、七条中、洛友中、修徳特別養護老人ホーム 	—	地域力推進室
	極め細やかな下京区防災訓練の実施	避難所運営訓練を採り入れる等、区民の皆様が参加しやすい防災訓練を、下京消防署や下京区自主防災会連絡会と連携して実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ○東方面と西方面に分けて区防災訓練を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・東方面防災訓練 開催場所 下京渉成小学校 参加学区 格致、成徳、豊園、開智、永松、修徳、有隣、尚徳、稚松、菊浜、植柳、皆山、崇仁 13学区 参加者数 約200人 ・西方面防災訓練 開催場所 七条小学校 参加学区 郁文、醒泉、淳風、大内、光徳、西大路、七条第三、安寧、梅逕、七条 10学区 参加者数 約500人 	避難所で作成した避難所運営マニュアルが確実に運用できるよう検証を行った。	地域力推進室
基本方針Ⅰ-③ 地域力を生かして安全を高める	下京区安心安全ネット継続応援事業	(再掲)	(再掲)	(再掲)	地域力推進室
	安心で環境にやさしい夜間門灯点灯運動	夜間の通りを明るくする門灯点灯運動への区民の皆様参加を促し、安心安全のまちづくりを目指すとともに、環境にやさしいLEDの啓発・普及を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会館等のLED門灯に係る経費補助を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・実施学区 豊園、開智、有隣、菊浜、七条 	経費補助及びモデル事業(23年度)で得たノウハウや啓発ポスターの学区への提供を行った。	地域力推進室

テーマⅡ まちの魅力や資源をつなぐ(空間をつなぐ)

基本方針	25年度重点取組				
	取組名	目標	実績	備考	所属等
基本方針Ⅱ-① まちの活力を高める	新たな賑わいを創出する 下京区西部エリアの活性化	関係事業者や関係学区の皆様等との連携を強め、梅小路公園や中央御売市場、水族館など多彩な地域資源が集積する下京区西部エリアの活性化を図ってまいります。	<ul style="list-style-type: none"> ○京都市の「下京区西部エリアの活性化を目指す検討会議」や梅小路公園周辺の商店街が組織する「梅小路活性化委員会」との連携を図った ○梅小路活性化委員会に所属する商店街が下京区「区民が主役のまちづくり」サポート事業を活用し、地域の小学校と連携した花いっぱい運動を実施した 「嶋原商店街と淳風小学校」 「七条中央サービス会と七条第三小学校」 「七西甲子会と西大路小学校」 「西七繁栄会と七条小学校」 	—	地域力推進室
	崇仁地区のまちづくり	崇仁地区では、「創造・交流・賑わい」のまちを目指す「崇仁地区将来ビジョン」の実現に向け取組が進められています。そうしたなか、京都市立芸術大学から崇仁地区への移転・整備の要望が京都市に提出されました。今後は、下京区民まちづくり会議との連携を図りながら、京都の玄関口としての魅力あるよりよいまちづくりを進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ○崇仁学区から市立芸術大学の早期移転に向けた要望書が提出され、下京区内の全学区で支援する趣旨の要望書も提出された。 ○エリアマネジメントの動きもある中で、区役所も周辺学区に働きかけるとともに、周辺地域への情報提供等を行った。 	平成26年1月の市長記者会見で、市立芸大の崇仁地域への移転整備の方針が発表された。	地域力推進室
	民間主導と区民参加による「下京・京都駅前サマーフェスタ」の支援	京都駅周辺の事業者や東西両本願寺が、京都駅前及び本願寺門前町を中心とした地域の活性化を目指して、区民の皆様や小中学校、各種団体等の参加を得て実施する夏祭りを支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ○京都駅ビル開発㈱、西本願寺及び東本願寺と共催で、下京・京都駅前サマーフェスタを開催 ・開催日 平成25年8月24日 ・場 所 京都駅前広場、西本願寺、東本願寺 ・参加者 7,212人 ・内 容 各会場での事業展開 ①駅前広場：オープニング、KBS京都ラジオ生放送、地域連携ステージ ②東本願寺：阿弥陀堂修復現場の見学、渉成園特別公開、お堀ワークショップ ③西本願寺：飛雲閣特別公開、ミニSL、ミニステージ ④その他：3会場をつなぐスタンプラリーの開催 	—	地域力推進室

基本方針 Ⅱ-② まちの個性を生かして魅力を高める	菊浜学区のまちづくり	高瀬川の川筋を花で飾る取組への支援などとおして、五條会館などの伝統的建造物が残る菊浜学区への住民の皆様の愛着を広げ、まちづくりへの想いをひとつにまとめる、地域活性化の機運づくりを行います。	<ul style="list-style-type: none"> ○菊浜学区のまちづくりが地域一体となって取り組む機運を育てるため、花植え活動「菊浜花回廊づくり事業」を支援した。 <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 第1回 平成26年6月27日 第2回 平成26年9月26日 第3回 平成26年11月20日 ・場 所 正面児童公園、六軒橋児童公園 ・参加者 菊浜学区住民 各回約30人 	菊浜花回廊づくり事業は学区住民とともに順調に取り組めた。この取組を大きく展開するために地域のまちづくり委員会の立ち上げを働きかけていく。	地域力推進室
	歩いて知る、下京の魅力再発見	地域の文化や歴史、隠れた名所等を紹介するマップの作成や地域資源をつなぐスタンプラリーの実施等により、歩いて下京区の魅力を再発見できる取組を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ○「しもぎょう歴史・文化 まち探訪スタンプラリー」を開催 <ul style="list-style-type: none"> ・日 時 平成26年3月16日 ・参加者 101名 ・ポイント：学校歴史博物館、市比賣神社、東本願寺、西本願寺、龍谷大学大宮学舎 ・ゴール：梅小路公園すざくゆめ広場 	参加者のアンケートにおいて、「初めて行く場所が多く大変よかった」「各ポイントでの説明がよかった」等の意見をいただいております。区内の魅力ある文化や歴史等の地域資源を再発見していただけた。	地域力推進室

テーマⅢ 歴史と伝統を未来へつなぐ(時をつなぐ)

基本方針	25年度重点取組				
	取組名	目標	実績	備考	所属等
基本方針 Ⅲ-① エゴを捨ててエコ活動を行う	花と緑の下京回廊づくり	区民の皆様が主体的に取り組む地域での緑化や花いっぱい運動を支援し、生活に彩りを加え、観光などで訪れる方々を温かく迎える下京区内の回遊を創出します。	<ul style="list-style-type: none"> ○学区での取組 <ul style="list-style-type: none"> ・菊浜学区 「花いっぱい運動」 正面公園及び六軒橋にプランターを設置、季節毎に花の植え替えを実施 ・光徳学区 「こでまりロード光徳」 五条通沿いに、プランターを設置 ○下京区区民が主役のまちづくりサポート事業補助金を活用した取組 <ul style="list-style-type: none"> ・格致花と緑の回廊づくり推進委員会 事業名 格致花と緑の回廊づくり推進事業 ・下京町衆倶楽部「下京区役所の屋上から何かを始めよう」Project 事業名 下京区役所屋上緑化「緑と絆」心の緑化Project ・いきいき梅小路・七条中央チーム 事業名 いきいき梅小路 七条中央花回廊 ・いきいき梅小路・西七チーム 事業名 いきいき梅小路 西七花回廊 ・いきいき梅小路・七西チーム 事業名 いきいき梅小路 七西花回廊 ・いきいき梅小路・嶋原チーム 事業名 いきいき梅小路 嶋原花回廊 	—	地域力推進室

<p>基本方針 Ⅲ-② 担い手の育ちを支える</p>	<p>下京地域力アップ（自治会加入促進）応援事業</p>	<p>地域の支え合いやつながりを強め、コミュニティの活性化を図るため、自治会づくりに向けた地域の自主的取組への支援を行うとともに、自治会への加入を促進する取組を行います。</p>	<p>○地域活動支援制度の利用による自治会への加入促進支援を実施 「地域コミュニティ活性化に向けた地域活動支援制度」による支援 皆山連合会：防火訓練と町内会交流会の合同事業の実施に向けた啓発チラシの作成、 尚徳自治連合会：新規大型分譲マンションの自治会加入に向けた、活動チラシの作成 尚徳横諏訪町：大型分譲マンションとの関係づくり事業の実施 七三自治連合会：自治連合会活動等を紹介する加入啓発チラシの作成、</p> <p>○「地域の支え合いを応援する標語」を募集 ・地域活動への理解と大切さに気付くきっかけづくりとして、地域のつながりや支え合いをテーマとして標語を一般部門、小中学生部門に分けて募集し選定した。 ・一般部門 応募総数：68作品 最優秀賞1作品、優秀賞5作品を選定 ・小中学生部門： 応募総数：482作品 最優秀1作品、優秀賞5作品、佳作2作品 ・選考方法：下京区の自治連合会会長及び市政協力委員連絡協議会会長を審査委員とする審査会で選考。</p>	<p>標語を活用した啓発や自治会加入促進に係る取組事例の紹介など、地域の自主的取組への支援を行う。</p>	<p>地域力推進室</p>
	<p>下京・町衆倶楽部</p>	<p>下京を愛する様々な立場の方々が集い、下京の魅力溢れるまちづくりについて自由な発想で話し合い、自ら実践する場づくりを行います。</p>	<p>○昨年度から引き続き町衆交流会を開催し、会員同士の交流とまちづくりに関する議論を行った</p> <p>○下京・町衆交流会 ・開催回数 通算10回 ・参加者 延べ518人</p> <p>○「下京ふれ愛ひろば」にブースを出展し、活動内容を多くの人にPRを行った。</p> <p>○下京・町衆倶楽部に所属するチームが下京区「区民が主役のまちづくり」サポート事業を活用した事業を実施 ・活用チーム数 4チーム 「タク・タク観光ルート開発チーム」 「下京町衆倶楽部広報チーム」 「下京町衆倶楽部「下京区役所の屋上から何かを始めよう」Project」 「まちの縁側ツアーをしませんか？チーム」</p>	<p>町衆交流会での個々のチーム活動等によるまちづくりの情報交換と実践活動を通して、魅力あるまちづくりに取り組んだ。</p>	<p>地域力推進室</p>

2 区民の皆様の地域力を生かした新しいまちづくりのために

基本方針	25年度重点取組				
	取組名	目標	実績	備考	所属等
地域が持つ底力を引き出し、区民の皆様と力を合わせてまちづくりを進めます。	「区民が主役のまちづくりサポート事業」の実施	区民の皆様等の自由でユニークな発想によるまちづくりや、学生や子どもたちが楽しみながら行うまちづくり活動等を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ○下京区「区民が主役のまちづくり」サポート事業補助金を交付 <ul style="list-style-type: none"> ・募集期間 4月15日～5月30日 ・申請団体数 29団体 ・交付団体数 23団体 ・審査会開催日 6月15日 ○下京区「区民が主役のまちづくり」サポート事業補助金に、「学生・若者まちおこし応援」部門を新設した <ul style="list-style-type: none"> ・申請団体数 4団体 ・交付団体数 2団体 	実施2年目であり、新規の団体から多くの申請があった。引き続き多くの方に活用いただけるよう広報を行う。	地域力推進室
	「いいね！下京探偵団」の実施	子どもたちの視点をまちづくりに生かすために、学校やPTAの皆様と連携しながら、下京区内の小学生が地域を見つめ、地域に愛着を持ち、将来の下京区について夢を発表し合う取組を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ○下京涉成小学校3年生（2クラス、54名）を対象に、総合学習の時間に、龍谷大学の学生ボランティアの協力を得て「まち探検」、「地図づくり」等を以下のとおり実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・7月10日 第1回まち探検 ・7月17日 まち探検地図づくり ・12月2日 第2回まち探検 ・2月17日 各児童が描いた「まちのお気に入り」の水彩画をプリントしたエコバックを制作 	平成25年度で事業終了。子どもたちが、地域の魅力を発掘し、まちについて楽しく学ぶことで、自分たちの住むまちをもっと好きになり、これからも住み続けたいふるさとして、愛着を持つことのできる良い機会となった。	地域力推進室
	「下京区活性化機運づくり事業」の実施	地域の魅力を発掘し、発信する取組や地域の交流を図るイベント等を開催し、区民の皆様の地域活性化に向けた機運づくりを行います。	<ul style="list-style-type: none"> ○京都駅から下京区西部エリアに繋がる東西両本願寺界隈を“門前町”と位置付け、この地域の“まちそだて”事業を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・門前町 まちそだて 交流会 <ul style="list-style-type: none"> 開催日 10月22日及び2月22日 場 所 涉成園 参加者 計40名 ・門前町 まちそだて フォーラム <ul style="list-style-type: none"> 開催日 11月16日 場 所 龍谷大学ミュージアム 参加者 70名 ○下京区内の歴史・文化をスタンプラリーや体験事業を通して、幅広い年齢層の区民等がともにふれあい、下京の魅力に深く関心をもってもらうため、下記事業を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・しもぎょう歴史・文化まち探訪スタンプラリー <ul style="list-style-type: none"> 開催日 平成26年3月16日 参加者 101名 ポイント 学校歴史博物館、市比賣神社、東本願寺、西本願寺、龍谷大学大宮学舎 ゴール 梅小路公園すざくゆめ広場 ・藪内家における茶の湯体験及び見学 <ul style="list-style-type: none"> 開催日 3月29日 参加者 123名 ○“花と緑”で崇仁のまちをつつもう <ul style="list-style-type: none"> 高倉塩小路並びに河原町塩小路における、フェンス撤去及び植栽整備にあわせて、空地の事業用地を花と緑でつつみ、憩いと潤いのあるまちづくりを進めた。 	下京区の地域活性化に向けての重要なまちづくりの課題等（下京区西部エリア、市立芸大の移転、高瀬川と連携したまちづくり等）について機運が高まった。	地域力推進室

学区カルテの作成と活用	各学区の様々な情報を収集、分析し、学区ごとの詳細なカルテを作成するとともに、学区への情報提供等、地域活動の活性化支援に広く活用していきます。	○作成した学区カルテを、区民まちづくり会議において配布し、情報提供を行った	各学区が地域の状況を把握し、自治会活動等の参考として活用いただいた。	地域力推進室
「下京区民まちづくり会議」の開催	様々な分野でまちづくりに関わる方々から下京区基本計画の推進等について広く御意見をいただき、まちづくりに生かします。	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日 6月10日 ・場 所 下京区役所会議室 ・参加者 45人（学区市政協力委員連絡協議会会長、自治連合会会長、各種団体の長及び事業者など） ・議 題 役員選出及び会則改正 区民まちづくり会議事業収支報告 平成24年度事業報告 平成25年度事業計画（案） 	—	地域力推進室
ふるさと納税寄付金制度	今年度から新たに、ふるさと納税寄付金制度によっていただいた寄付金を、直接下京区のまちづくりに充てさせていただけるようになりました。この貴重な財源を、皆様の御意見を伺いながら、有効に活用してまいります。	<ul style="list-style-type: none"> ○イベントなどでチラシを配布するなど、ふるさと納税寄付金制度を周知を実施 ○子どもたちの健全な育成のために大口の寄付をいただいた。区内小学校の各校長と寄付者の意向を尊重しながら協議を行い、絵本の読み聞かせや、子どもたちのはぐみに関するシンポジウムを行うことを検討した。 	引き続き、下京区への寄付が集まるよう情報提供や寄付の用途についてお知らせするなど取り組みを進めていく。	地域力推進室

3 一層信頼される区役所づくりのために

基本方針	25年度重点取組				
	取組名	目標	実績	備考	所属等
	迅速な対応と説明責任の徹底	区民の皆様の相談や要望を丁寧に向い、迅速に対応するとともに、分かりやすい説明に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ○職員への対応研修を進め、窓口での迅速かつ丁寧な対応を行った（地域力推進室） ○「来庁者の声」に基づき職員で検討し、婚姻届を出されたお二人に、そのときの写真を撮り、「結婚メモリアル証」としてプレゼントする取組を開始した（市民窓口課） ○当初課税や納税通知書等の発送時期などにタイムリーなミーティングを行い、事務手順や制度改正内容等について正確な手順や知識の共有化を徹底したことで、丁寧な対応や分かりやすい説明に繋げることができた（市民税課、固定資産税課） ○来庁や電話等で市民の方と接する際に、市民の皆様が目線に立った親切、丁寧な対応を心がけ、信頼感の向上につなげることができた（納税課） ○市民の皆様からの問合せに対して、制度の内容を分かりやすく理解していただけるよう、丁寧な説明を行った。特に、父子家庭をひとり親家庭等医療に加える改正時には、制度内容等を課内で共有することにより、特に分かりやすい説明を行うことができた（福祉介護課） ○「支援課 心地ええDAYプロジェクト」をテーマに、来庁者に心地よいと思っていただけるよう窓口対応、環境整備を心掛けた（支援課） ○8月に実施された生活保護基準改定においては、事前に研修会を開催し、被保護世帯の理解を十分に得られるよう取り組んだ（保護課） ○ボイスコールの活用等による、可能な限りお待たせしない迅速な対応と、常に市民の皆様立場に立った説明を心がけ、窓口アンケートにおいても高い評価を得ることができた（保険年金課） ○職員への対応研修を進め、窓口でのさわやかで迅速かつ丁寧な対応を行った（健康づくり推進課、衛生課） 	—	各課共通

<p>来庁される皆様（お客様）に満足いただける、より快適なサービスを提供します。また、全職員が高い防災意識を持ち、災害時に迅速に行動します。</p>	<p>区役所庁内プロジェクトチームの取組の充実（訪れたくなる庁舎部会、市民応対向上部会、役に立つ情報発信部会）</p>	<p>区民の皆様が親しまれ、気軽に利用していただける区役所づくりのために、職員有志によるプロジェクトチームが、改善や工夫が必要な点について話し合い、できることから直ちに取り組みます。</p>	<p>○職員有志による3つのプロジェクトチームを設置した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪れたくなる庁舎部会（5回開催） 区内の保育所や小学校等の園児・児童が描いた絵画を掲示する、シモン s ギャラリーの継続実施 実施期間 11月～5月まで 参加団体 20団体 保健センター階段、廊下の見直しの検討 階段の明るさの改善後、アンケートを実施 ・市民応対向上部会（4回開催） セルフチェックシートの見直し 窓口アンケートの項目に合わせ、質問項目を見直した ニュースレターの発行 職員向けに市民サービス向上に係る記事を掲載したニュースレターを2回発行した ・役に立つ情報発信部会（1回開催） 会議は1回開催したものの、具体的な議論を行うことができなかった。 	—	地域力推進室
	<p>市税等の適正な事務推進と徴収率の向上</p>	<p>行政サービスの財源となる市税や保険料等について、適正な事務の推進に努め、皆様から公平かつ確実に納付いただくことで、みんなで支える社会を築きます。</p>	<p>○市民税課では未申告者や給与支払報告書未提出者の所得把握に努め、区外課税対象者については、開廃業の調査、営業箇所の現地調査等を行い、適正な課税の推進に努めた。 また、固定資産税課では、適正かつ公平な課税を実現するために、より一層の課税捕捉、適正化に努めた。平成25年度の取組としては、住宅用地認定の見直し調査をおこない、約760筆の実地調査を実施し、適正な事務の推進と課税捕捉に努めた （市民税課・固定資産税課）</p> <p>○下京区滞納整理計画に基づき効率的な徴収事務を推進した結果、25年度の下京区市税徴収率は97.8%となり、前年度徴収率(97.6%)を0.2ポイント上回ることができた。（納税課）</p> <p>○介護保険料徴収率（現年、普通徴収）は、88.90%であり、目標徴収率89.46%を達成できなかった。（福祉介護課）</p> <p>○平成26年2月現在の保育料徴収率99.50%（前年同月比+0.10%）（支援課）</p> <p>○負担の公平性を保つため、必要に応じて財産調査を実施し、滞納処分を進めた結果、国民健康保険、後期高齢者医療制度とも、保険料徴収率の向上を図ることができた（保険年金課）</p>	—	市民税課、固定資産税課、納税課、保険年金課、福祉介護課、支援課
	<p>防災訓練・研修の充実</p>	<p>大規模地震等の緊急時に、全職員が機敏に対応できるよう、日頃から消火栓の使用方法を実習するなどの訓練や防災研修を重ねます。</p>	<p>○危機管理クロスロードを使った防災研修を各課で実施</p>	—	地域力推進室